

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	3(4)学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐藤 美弥子		
居室	東1-615		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p>【主題および達成目標】</p> <p>今後「英語」を、リサーチのためであれ、コミュニケーションのためであれ、「道具」として使用しなければならない諸君が、一日も早く「自立」できるよう、必要最小限のノウハウを伝授したい。</p> <p>具体的には、</p> <p>?@未知の英単語や英語表現と遭遇した時に、既知の情報から「自力で」類推できるよう、「語源」や「前置詞」、「動詞の個性」などに着目し、中学で英語を学び始めてから現在に至るまで訳も分からず頭に詰め込むことに終始した断片的情報を、システムティックに整理統合し、「道具」として使えるものとする。</p> <p>?A?@を实践する過程で、インターネットを駆使して、諸君が専門分野で必要とする「言葉」や「表現」が現時点で実際にどのように使われているか、欧米のコーパスを検索して多くの事例を示し、その場で文を書いて貰ったり宿題として作文を課すことによって、諸君が「道具」の使い方を習得できるよう訓練する。</p> <p>?B上記のように、受講生「参加型」の授業であるから、僅か一学期間・週一回の集まりではあるが、学期末に諸君の努力の集大成として、グループ毎の研究発表(内容は相談に応じる)をお願いする。</p> <p>以上、ambitiousではあるが、目標は高く掲げる。それを下げるも上げるも諸君次第であることを、お忘れなく。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>English A, B, C & D</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

handouts + 『語源中心受験英単語1300』（エイブル語学研究社、1993）

【授業内容とその進め方】

[主題および達成目標]を参照のこと

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席（欠席回数が総授業回数の三分の一を越えると失格。遅刻3回を欠席1回に換算。遅刻と欠席はそれぞれ減点の対象）、自主発言の回数、授業中の活動、提出物、試験、等を成績評価の対象とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業終了後が不都合な場合は、教員と学生双方に都合のよい日時。

【学生へのメッセージ】

受講生諸君に「役に立つ」「面白い」と実感して貰える授業を、諸君と一緒に、創り上げる。

【その他】